

令和元年7月19日

農林水産省「革新的技術開発・緊急展開事業」(うち経営体強化プロジェクト)

「既存の機械を活用したゴマの収穫・乾燥・調製技術の機械化」

公開セミナー 開催案内

趣旨

ゴマは、国産化への期待が大きく、特に三重県では近年、県や地元企業が一丸となってゴマの増産に取り組んでいる。その一方、ゴマの栽培は手作業が多く、気象災害にも弱い~~ため~~コンバイン利用を始めとした機械化が進んでいない状況にある。そこで革新的技術開発・緊急展開事業(農林水産省)において農研機構、三重県、九鬼産業(株)、井関農機(株)、杉野農園、(株)モリファームは研究コンソーシアムを組み、平成29年度からゴマの収穫機械化に取り組んできた。今回、本事業の最終年度に当たって、これまでの研究成果とゴマの国産化への期待について講演するとともに機械収穫の現場を広く公開し、技術の広い普及とさらなる発展を目指す。

1.日時

令和元年9月11日(水) 現場見学会:12時~15時、講演会:15時~17時

2.場所

現場見学会:コンバイン収穫実演:(株)モリファーム現地圃場(三重県亀山市能褒野町)

収穫物の乾燥・調製実演:(株)モリファーム農舎(三重県鈴鹿市西富田町)

*雨天時は見学内容を一部変更

講演会:鈴鹿市文化会館 さつきプラザ

(〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町 810 TEL:059-382-8111)

3.講演会プログラム

挨拶 三重県農業研究所 所長 後藤 健治

講演 1)「コンソーシアムの取り組みと研究成果」

農研機構 次世代作物開発研究センター カンショ・資源作物育種ユニット長 高田明子

2)「ゴマの機械化に向けた期待」

杉野農園 代表 杉野吉彦

3)「国産ゴマへの期待」

九鬼産業株式会社 開発部次長 藤澤英二

4)「ゴマ機械化体系の三重県における可能性」

三重農業研究所 主幹研究員 田畑茂樹

全体質疑応答

司会 農研機構 次世代作物開発研究センター 高田明子

4. 参集範囲

生産者、メーカー、行政機関、研究機関、ゴマや農業の機械化に関心のある者。

(現場見学会 80名、講演会 180名、先着順)

5. その他

1) 現場見学会の移動方法

現場見学会の参加者は、近鉄「白子駅」東口に12:00に集合し、借り上げバスにて移動。見学会終了後は同バスにて講演会会場まで移動

2) 参加費 無料

3) 申し込み方法 所定の参加申込書に必要事項を記入し、FAXまたはメールにて申し込む。なお、先着順に受け付け、現地見学会、講演会共にそれぞれの定員に達し次第締め切る

4) 主催 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構次世代作物開発研究センター (「ゴマ機械化」コンソーシアム 革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロ、農林水産省))

5) 共催 農林水産省「知」の集積と活用場の研究開発プラットフォーム 「特産作物の技術開発による高度利用」 三重県

6) 注意事項

- ・講演会から参加される方は各自で各種交通機関、お車等で会場までお集まりください。
- ・講演会会場(鈴鹿市文化会館)は駐車場台数が限られているため、満車の場合は近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- ・講演会終了後は鈴鹿市文化会館で解散となります。

6. 連絡先

農研機構 次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域
カンショ・資源作物育種ユニット 高田明子
〒305-8518 茨城県つくば市観音台 2-1-2
TEL 029-838-8393 FAX 029-838-8475
E-mail: goma-kikaika-admin@ml.affrc.go.jp